

平成25年度事業計画

I 事業方針

当センターは、県、市町村、関係団体の出捐により、平成元年5月に財団法人として設立され、平成23年4月から公益財団法人へ移行しました。

設立以来、地域社会において実践活動を行う賛助会員を有する全国唯一の「明るい長寿社会づくり推進機構」として、気運づくり・人づくり・仲間づくり・活動の場づくりを掲げ、県内高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を推進し、健康長寿県づくりの一翼を担ってきました。

平成24年10月1日現在、長野県の65歳以上の人口は58万人を超え、老年人口の割合は27.4%と上昇を続けています。今後も「団塊の世代」が順次65歳を迎えることからさらに高齢社会が進展する見込みで、高齢者が地域社会を構成する一員としてその役割を担い、健康で活躍できる地域社会づくりが一層重要となっています。

また、県の新たな「長野県総合5か年計画」の「雇用・社会参加促進プロジェクト」においても高齢者の活動の場の拡大・社会参加を促進する仕組みづくりを進めることとされています。

このような背景の中、事業計画、予算の策定にあたっては、次の事項に意を用いるとともに、的確かつ迅速な執行に努めます。

□ 活力ある長寿社会づくりの大切さを呼びかけます

情報誌及びホームページを活用した情報発信等により、活力ある長寿社会づくりの大切さを呼びかけます。

□ 人づくり事業により、高齢者の社会参加意欲の醸成とその実践力を高めます

シニア大学では、一層の社会参加活動につなげるため実践講座を体系的に行うとともに、運営委員会によるカリキュラム等の検討を行います。

また、信州ねんりんピックの開催等を通じて高齢者の生きがいと健康づくりを推進するとともに、社会参加活動の活動成果を発表する場を設け、高齢者の社会参加意欲の醸成を図ります。

□ 地区賛助会への協力・支援を行うとともに、賛助会員の加入促進と活動支援を進めます

地区賛助会への助言、交付金の拡充による運営の支援や賛助会員グループへの活動費助成など会員の活動支援を行うとともに、シニア大学学生へのPR等により賛助会員の加入促進に努めます。

□ 高齢者の社会参加活動への支援を進め、活動の場の構築を目指します

高齢者地域活動会議の活用により、ボランティア活動や登録団体の紹介等、高齢者の活動の場を拡大し、社会参加の促進を進めます。

また、「いきいき中高年社会貢献活動支援事業」等により高齢者の社会参加活動に対し積極的に支援します。

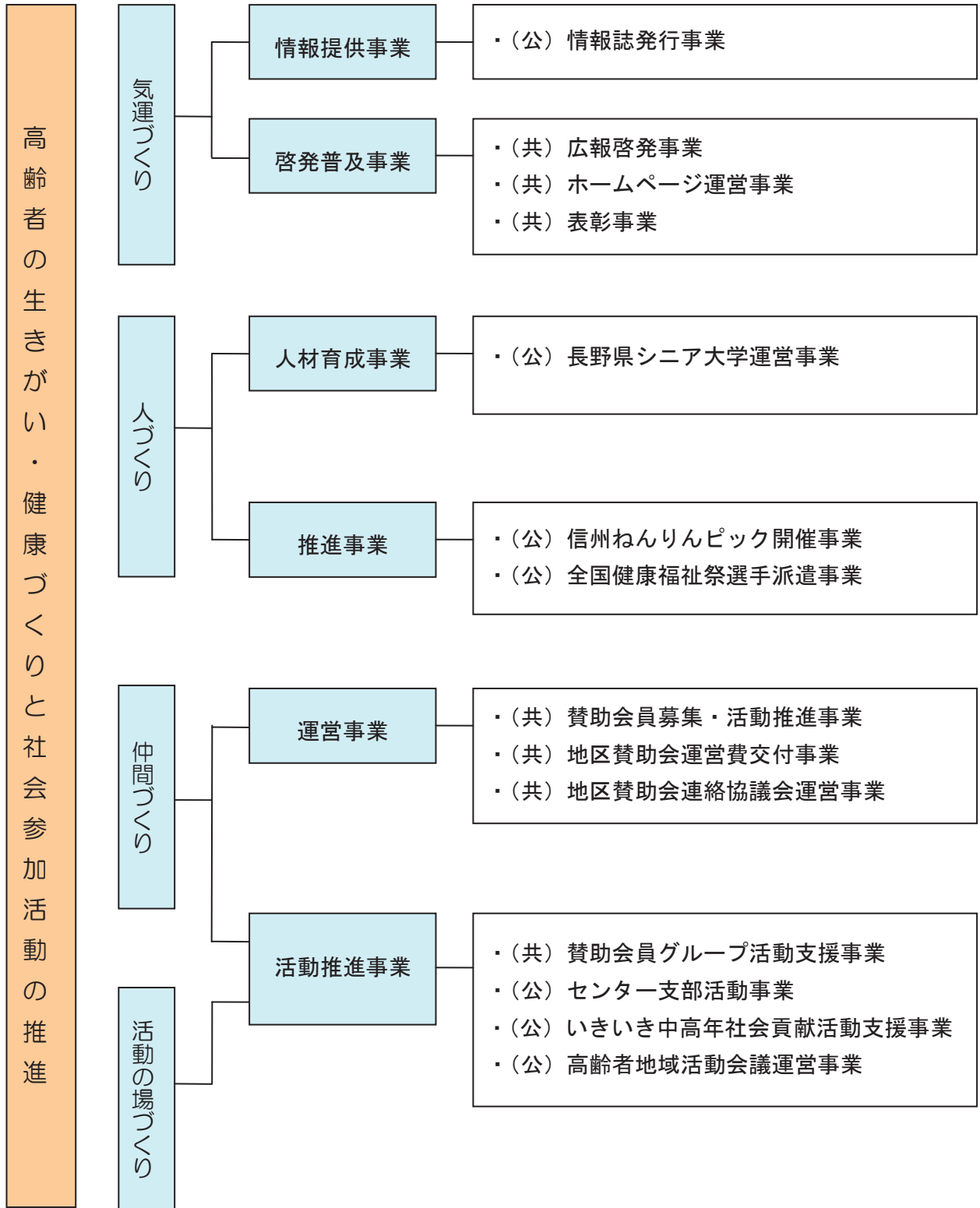
□ 財団運営の一層の健全化に努めます

基本財産運用収入や賛助会費、広告料収入等財団の自主財源の確保に努めるとともに既存事業の内容を見直し、財団運営の一層の健全化を目指します。

II 事業体系

(公) : 公益目的事業

(共) : 共益事業



Ⅲ 実施事業

1 気運づくり

(1) 情報提供事業

① 情報誌発行事業（予算額 7,199千円）

情報誌「信州りらく」を発行して、高齢者に関係の深い文化・社会参加活動等に関する情報や「絆」をテーマとした呼びかけを広く発信し、生きがいと健康づくり、社会参加への意識の高揚を図ります。

- ▶ 発行回数 年4回（4月、7月、10月、1月）
- ▶ 発行部数 5,650部
- ▶ 配布先 市町村、図書館、公民館、公的病院、賛助会員等
- ▶ 支部通信員の設置（30人）

地域で活躍する高齢者の情報を収集するため、支部通信員（活動サポーター）を設置し、地域の声を反映させます。

(2) 啓発普及事業

① 広報啓発事業（予算額 242千円）

センターの事業内容紹介パンフレットを作成・配布するとともに、イベントや事業のマスコミへの情報提供を積極的に行い、高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加に対する県民各層の意識の高揚を図ります。

② ホームページ運営事業（予算額 30千円）

イベント、事業、募集案内等をタイムリーに掲載するとともに、各地区賛助会の会報誌・賛助会員活動グループの活動等を紹介するなど情報発信に努めます。

③ 表彰事業（予算額 55千円）

高齢者の生きがい・健康づくりと社会参加活動に功績のあった個人及び団体を表彰します。

2 人づくり

(1) 人材育成事業

① 長野県シニア大学運営事業（予算額 22,100千円）

高齢者の仲間づくりと知識の涵養を高め、生きがいと健康づくりとともに、積極的に地域の活動に参加する者を養成します。シニア大学運営委員会の提言「カリキュラム編成の基本的考え方」に基づき、シニア大学生を社会参加活動に繋げていくためのカリキュラムを体系的に構築するとともに、カリキュラムの編成を担う社会活動推進員のコーディネート力向上のための研修会を実施し実践講座の充実を図ります。

- ▶ 定員 2,600人（1学年1,300人、2学年1,300人）
- ▶ 修業年限 2年
- ▶ 学習時間等 年60時間（4時間×15日）

（1学年 教養講座24時間、実技講座20時間、実践講座16時間）

(2 学年 教養講座 16 時間、実技講座 20 時間、実践講座 24 時間)

- ▶ 授業料 1 人年額 8, 5 0 0 円

(2) 推進事業

① 信州ねんりんピック開催事業 (予算額 5, 2 5 5 千円)

長寿社会に対する理解を深め、高齢者の生きがい・健康づくりや社会参加を推進する契機とするため、高齢者を中心とする多くの県民が参加する文化・芸術・スポーツの祭典を開催します。また、地域で活動する高齢者グループの社会参加活動の成果を発表し社会参加意欲の醸成を図ります。

ア 文化・芸術交流大会

(ア) 式典、講演、ステージ発表、社会参加活動成果発表

- ▶ 開催期日 平成 2 5 年 1 0 月 5 日 (土)
- ▶ 会場 諏訪市文化センター ホール

(イ) 囲碁・将棋大会

- ▶ 開催期日 平成 2 5 年 1 0 月 5 日 (土)
- ▶ 会場 諏訪市文化センター 第 2 集会室等

(ウ) 高齢者作品展

- ▶ 開催期日 平成 2 5 年 1 0 月 4 日 (金) ~ 6 日 (日)
- ▶ 会場 諏訪市文化センター 第 1 集会室等
- ▶ 内容 日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真の 6 部門
の作品展示

イ スポーツ交流大会

- ▶ 開催期日 平成 2 5 年 9 月 2 8 日 (土)
- ▶ 会場 茅野市運動公園
- ▶ 内容 ダンススポーツ等 1 0 種目

② 全国健康福祉祭選手派遣事業 (予算額 4, 7 1 7 千円)

高齢者の生きがいと健康づくりを目指す、第 26 回全国健康福祉祭こうち大会「ねんりんピックよさこい高知 2 0 1 3」へ選手を派遣します。

- ▶ 開催期日 平成 2 5 年 1 0 月 2 6 日 (土) ~ 2 9 日 (火)
- ▶ 開催場所 高知県
- ▶ 選手団派遣予定人員 1 8 種目 1 2 0 人
- ▶ 選考大会の後援

各競技団体が開催する全国健康福祉祭参加選手選考大会を後援し、多くの高齢者の参加を呼びかけます。

3 仲間づくり

(1) 運営事業

① 賛助会員募集・活動推進事業 (予算額 2, 1 7 5 千円)

活動サポーター (3 0 人) の研修会を開催し会員募集活動の促進、活動グループの育成を進めるとともに、個人及び法人の賛助会への加入促進に取り組み、

賛助会員の増加を図ります。

ア 活動サポーター研修

委嘱した活動サポーターによる会員募集活動や情報誌への情報提供を行う（支部通信員）とともに、活動サポーターの資質向上、地域活動推進、会員募集の強化等を推進するために研修会を実施します。

イ 個人会員の加入促進

- ▶ 地区賛助会との連携による取り組み
- ▶ 情報誌をシニア大学生全員に配布（年1回）
- ▶ シニア大学、いきいき実践塾からの入会者には入会金を免除
- ▶ 会員特典の実施
割引協力店での割引サービス、グループ活動経費への助成、情報誌の配布等

ウ 法人会員の加入促進

- ▶ 会員特典の実施
情報誌・ホームページでの紹介、ホームページへの広告料割引、情報誌の配布等

エ 割引協力店の充実

- ▶ 賛助会員が利用できる割引協力店の拡大

《参考》 H25年1月末現在の賛助会員数等

- 賛助会員数 個人 4,102人 / 法人 76団体
- 活動グループ数 254グループ
- 割引協力店 310店(施設)

※「割引協力店」⇒美術館、温泉施設、旅行会社等の指定店で割引が受けられる制度

② 地区賛助会運営費交付事業（予算額 1,945千円）

活動発表会、会報発行、会員加入促進等、地区賛助会の活動運営に係る経費について、一部拡充して交付します。

③ 地区賛助会連絡協議会運営事業（予算額 159千円）

賛助会員代表（20人）と支部事務局長により構成される連絡協議会で社会参加活動の推進策等について協議・意見交換を行うとともに、地区賛助会活動の連絡調整を図ります。

（2）活動推進事業

① 賛助会員グループ活動支援事業（予算額 3,695千円）

賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部をグループに助成します。

- ▶ 助成額

ア 賛助会員A会員数1人当たり1,000円（1会員1グループに限る）

- イ 社会貢献活動加算：賛助会員A会員数1人当たり300円
社会貢献活動を年間5回以上行うグループ

③ センター支部活動事業（予算額 950千円）

センター支部の自主的な活動を促進するため、次のとおり実施します。

ア 一般事業

管内の高齢者を対象に生きがい・健康づくりや社会参加につながる事業を実施します。

- ▶ 限度額 1事業当たりセンター負担5万円

イ 信州ねんりんピック参加促進事業

管内高齢者の信州ねんりんピックへの参加を促進することを目的に実施します。

- ▶ 限度額 1支部当たりセンター負担5万円

④ いきいき中高年社会貢献活動支援事業（予算額 818千円）

中高年者が地域社会への関わりを深め、明るく豊かな長寿社会の形成を促進するため、地域社会へ貢献しようとする概ね50歳以上の中高年者を中心に結成され、今後3年間の事業計画が明確で継続して活動を行うことが見込まれるグループへ助成します。

今年度は、予算額を拡充し社会参加活動の推進を図ります。

- ▶ 助成額 助成対象事業費の2/3以内で、1年目は20万円、2年目は15万円、3年目は10万円を限度とします

4 活動の場づくり

活動推進事業

高齢者地域活動会議運営事業（予算額 100千円）

センターが進める元気高齢者施策を関係機関団体との連携と協働により推進するため各支部に設置されている「高齢者地域活動会議」を有効に活用し、県の新たな5か年計画のプロジェクトの一つである「雇用と社会参加促進プロジェクト」実現を目指し、県と連携して、高齢者の社会参加活動促進のための取り組みを推進します。

5 財団運営

理事会、評議員会、地区賛助会連絡協議会など、財団運営に必要な会議を開催し、適正な財団運営を行います。

- ▶ 理事会 5月、3月
- ▶ 評議員会 6月、3月
- ▶ 地区賛助会連絡協議会（正副会長会議を含む。） 6月、2月
- ▶ 支部事務局次長、推進員等会議 4月、12月